

観光業は成長産業

旅館再生で地域活性化を

アイフルの子会社で企業再生コンサルティングを提供するアストライパートナーズ（東京・港）が日本の伝統宿の再生に乗り出した。インバウンド（外国人観光客）の増加で活況を呈しているとみられるホテル・旅館業界だが、実際は優勝劣敗が激しい。経営不振にある伝統宿の再生を通じて、地域活性化につなげる。

アストライパートナーズ

インバウンド観光客にとって、日本の伝統宿は非常に人気が高い。だが、こうした需要を取り込めていないところが多いのが実情だ。

今年8月末に始めた「日本の伝統宿再生プロジェクト」を率いる中馬俊彦専務は、経営が厳しい地方の宿泊施設には▽経営者の高齢化▽外国人

に対応したホームページなどインバウンド向け施策▽設備の老朽化――の3点が共通するという。これら課題が解消できれば、再生への道筋が描ける、と判断した。

パートナーを組むリバティ（静岡市）は、静岡県伊豆半島の高級宿を再生させたことで一気に名



中馬俊彦専務

を上げた。ウェブを使ったマーケティング支援や経費管理の仕組みに強みを持つ。グループのサービス会社は過去に老舗

旅館を再生させた実績があり、リバティの持つノウハウやネットワークを生かし、多くの案件獲得をめざす。

中馬専務は「老舗の旅館の経営不振はその地域の経済に悪影響を与え」と話す一方「観光業は成長産業」との期待も大きい。今後は地域金融機関にも理解と協力を得ながら、企業再生を切り

口に、地域の観光業の下支えに取り組む考えだ。

中馬 俊彦（ちゅうま としひこ）1987年

アイフル入社。05年教育部長、09年管理本部長。12年 アストライ債権回収専務取締役（現任）、18年アストライパートナーズ取締役専務執行役員（現任）。兵庫県出身、50歳。